

公益社団法人 日本交通計画協会

2024年度（2024年7月1日～2025年6月30日）

事業報告書

《法人管理事項》

1 社員異動状況

社員入退社状況

2024年7月1日時点	加入社員数	89名
2024事業年度内	入社社員数	0名
2024事業年度内	退社社員数	3名
2025年6月30日時点	加入社員数	86名

2 社員総会

2024年度定時社員総会

日 時	2024年9月12日（木）	17時00分～17時56分
会 場	ホテルメトロポリタンエドモント	3階「光彩」
議事事項	報告第1号	2023年度事業報告
	第1号議案	2023年度計算書類及び財産目録の承認の件
	第2号議案	役員年報酬限度額総額等の件
	報告第2号	2024年度事業計画書
	報告第3号	2024年度収支予算書

3 理事会

2024年度第1回理事会

日 時	2024年8月26日（月）	13時52分～15時36分
会 場	公益社団法人 日本交通計画協会	3階「B・C会議室」
議事事項	第1号議案	2023年度事業報告及び附属明細書の承認の件
	第2号議案	2023年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認の件
	第3号議案	役員年報酬限度額総額案の承認の件

報告第1号 職務執行報告

報告第2号 総合交通体系整備研究積立資金の運用実績

2024年度第2回理事会

日 時 2024年9月12日（木） 18時15分～18時28分

会 場 ホテルメトロポリタンエドモント 3階「光彩」

議事事項 第1号議案 常勤理事年報酬額の承認の件

2024年度第3回理事会

日 時 2025年1月21日（火） 11時00分～12時06分

会 場 公益社団法人 日本交通計画協会 3階「B・C会議室」

Web会議併用

議事事項 第1号議案 「役員賠償責任保険」契約締結承認に関する件
報告第1号 職務執行報告

2024年度第4回理事会

日 時 2025年6月19日（木） 15時53分～17時20分

会 場 公益社団法人 日本交通計画協会 3階「B・C会議室」

議事事項 第1号議案 2025年度事業計画書の承認の件

第2号議案 2025年度収支予算書の承認の件

第3号議案 総合交通体系整備研究積立資金の全体運用計画の承認の件

第4号議案 入社希望者に対する入社承認の件

報告第1号 職務執行報告

《事業執行事項》

1 刊行物等発行事業（公益目的事業4、収益事業2）

（1）公益社団法人日本交通計画協会会報「都市と交通」

- ・第132号 2024年9月発行 「特集：海外にみる都市と交通」
- ・第133号 2024年10月発行 「特集：健康まちづくり」
- ・第134号 2025年2月発行 「特集：シェアモビリティとモビリティハブ」
- ・第135号 2025年6月発行 「特集：世界ストリート会議「The World Street Congress OSAKA 2024」」

2 講習会・シンポジウム等開催事業（公益目的事業１）

（１）「都市と交通」エッセンシャルセミナー

・2024年度 第１回

日 時 2024年12月３日（火）15時00分～18時00分
会 場 公益社団法人日本交通計画協会 ３階「B・C 会議室」
題 目 地域公共交通の本質的課題と解決の方向性
講 師 流通経済大学大学院 板谷和也教授
受講者 地方公共団体、民間企業、協会社員等 28名

・2024年度 第２回

日 時 2025年２月13日（木）15時00分～18時00分
会 場 公益社団法人日本交通計画協会 ３階「B・C 会議室」
題 目 九州 MaaS の狙いと各地域における特徴的な取り組み
講 師 九州旅客鉄道株式会社
受講者 地方公共団体、民間企業、協会社員等 25名

・2024年度 第３回

日 時 2025年６月26日（木）15時00分～18時00分
会 場 公益社団法人日本交通計画協会 ３階「B・C 会議室」
題 目 生活沿線宮島線～地域とともにつくる新しい価値～
講 師 広島電鉄株式会社、眺めニスト 山下裕子氏
受講者 地方公共団体、民間企業、協会社員等 32名

（２）連続立体交差事業実務担当者講習会

日 時 調査・計画コース：2024年７月25日（木）～26日（金）
事業実施コース：2024年12月９日（月）～10日（火）
会 場 公益社団法人日本交通計画協会 ３階「B・C 会議室」
講 師 国土交通省担当官、先進事業地地方公共団体職員等
受講者 地方公共団体担当者等 調査・計画コース：21名
事業実施コース：17名

（３）講演会「都市を持続可能とする公共交通ネットワークを後世に残すために ～今が変われるラストチャンス～」

日 時 2024年８月２日（金） 14時30分～16時30分
会 場 ホテルルポール麴町 ２階 ロイヤルクリスタル
講 師 名古屋大学大学院 加藤博和 教授、国土交通省担当官
主 催 路面公共交通研究会との共催
後 援 国土交通省

協 賛 全国路面軌道連絡協議会
受講者 地方公共団体担当者、民間企業、協会社員等 142名

(4) 「都市と交通」実践セミナー「立地適正化計画と地域公共交通計画の一体的な見直し」

日 時 2024年10月8日（火）13時30分～17時00分
会 場 商工会館 5階 5H会議室
オンライン開催併用
講 師 国土交通省担当官他
受講者 地方公共団体、協会社員等
対面参加者：19名 オンライン参加者：462名

(5) 「都市と交通」新春講演会・発表会

日 時 2025年1月14日（火）16時00分～17時20分
会 場 ホテルルポール麹町会館 2階 ロイヤルクリスタル
講 師 （公社）日本都市計画学会 渡邊浩司会長、筑波大学 谷口守教授
受講者 関係団体、協会社員等 91名

(6) BRT 等新たなバス交通システム研究部会シンポジウム

「新たなバス交通システムが未来のまちの風景を変える」
日 時 2025年6月2日（月）15時00分～17時45分
会 場 東京大学駒場リサーチキャンパス An棟大会議室301・302
アーカイブ配信あり
登壇者 東京大学大学院 中村文彦特任教授
（一財）計量計画研究所 牧村和彦理事
名古屋大学 外山友里絵特任助教
BRT 等新たなバス交通システム研究部会員
受講者 地方公共団体、民間企業、協会社員等 93名

3 海外調査研究事業（公益目的事業4）

(1) 「オーストラリアにおける公共交通調査団」～路面公共交通を中心に～

調査期間 2024年10月6日（日）～10月14日（月） 9日間
調査都市 シドニー、ニューカッスル、パラマタ、キャンベラ
調査団員 19名
調査内容 各都市における LRT、都市空間等の整備状況や公共交通と連動したまちづくりの調査

(2) 「欧州における新たなバス交通システムを中心とした都市内公共交通システム調査団」

調査期間	2025年6月10日（火）～6月19日（木） 10日間
調査都市	リヨン、ナント（フランス）、アムステルダム、アイントホーフェン（オランダ）
調査団員	15名
調査内容	バスを中心に歩行空間や自転車の利用環境、シェアリングモビリティ、LRT など多様な都市交通が一体的に構築されている状況について、視察とともに現地の行政や運営主体、国の研究機関、メーカーなどを訪問し聞き取り調査を実施。

4 国際会議・催し物等開催協力（公益目的事業4）

(1) スマートウェルネスコミュニティ協議会

目 的	産官学が一体となり、健康づくりの促進、継続、意欲の増進に資する社会システムや制度を設計し、新技術の開発等を実現する推進母体を構築し、スマートウェルネスコミュニティの実現に貢献する。
協力事項	会員参加（まちづくり分科会）

(2) 国土交通行政推進事業

目 的	活力ある経済社会と安全・良好な環境、多様性ある地域を実現するための基盤を形成する事業について広く国民に広報し、その理解と協力を得る。
主 催	一般社団法人建設広報協会
協力事項	協賛

(3) 道路ふれあい月間

開催期間	2024年8月1日（木）～31日（土）
主 催	国土交通省
目 的	道路の役割、重要性、道路愛護思想、道路の正しい利用等の啓発を図り、道路を常に広く美しく安全に利用する気運を高める。
協力事項	協賛

(4) アジア交通学会

目 的	アジアの交通研究の実施により、今後のアジア諸国の発展に資する成果を上げるとともに、アジア諸国の交通関係研究者、実務者と共同研究や情報交換等の交流を行う。
-----	--

協力事項 会員参加

(5) 第15回「EST 交通環境大賞」・第15回「EST 普及促進フォーラム」

募集期間 EST 交通環境大賞 : 2024年9月25日(水)～
2025年1月17日(金)

フォーラム・表彰式: 2025年7月18日(金)

主 催 EST 普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

後 援 国土交通省、警察庁、環境省 他

事業内容 EST(持続可能な交通環境対策)の普及のため、地域の交通環境対策に関する取り組み事例を発掘し、優れた取り組みの功績や努力を表彰するとともに、その取り組みを紹介して普及を図る。

協力事項 協力

(6) 「都市景観の日」実行委員会

目 的 国民共有の財産である都市景観を守り、良好な都市景観を育むため、国民相互の協力、実践を広く呼び掛ける事業を行うことにより、より良い都市景観の形成を目指す。

協力事項 協賛

主要行事 「都市景観大賞」の表彰

内 容 大賞候補の募集、選定、表彰。普及啓発 等

(7) 「世界都市計画の日」日本集会

開 催 日 2024年11月8日(金)

目 的 世界の都市計画関係者が集会し、都市計画についての反省、広報宣伝、講演等の啓発活動を実施する。

協力事項 協賛

(8) 第31回「鉄道技術連合シンポジウム」(J-RAIL 2024)

開催期間 2024年11月27日(水)～11月29日(金)

開催場所 東京大学 生産技術研究所

主 催 一般社団法人日本機械学会

共 催 一般社団法人電気学会、公益社団法人土木学会

開催内容 鉄道システムに関し、機械、電気、土木の各分野の専門の枠を越えて総合的な研究発表、議論を行い、各分野の技術交流・相互理解を深める。

協力事項 協賛

(9) まちづくりアワード

主 催 国土交通省

目 的 まちづくりに係る種々の取組を実践し優れた実績を上げている団体や、優れた構想・計画を策定し実現を目指す団体を表彰し、その活動を応援するとともに、好事例を広く紹介することにより、全国のまちづくりに向けた取組を推進する。

協力事項 協賛

5 研究部会（公益目的事業3）

(1) 新交通システム研究部会

- ・新興国における新交通システム導入可能性の探求
- ・特殊構造の適用による新交通システム導入可能性向上に関する研究
- ・無人自動運転技術の実現に向けた動向と新交通システムの優位性の整理

(2) ライトレール研究部会

- ・経験・実績データを踏まえた LRT 整備の将来像に関する調査研究
(車両動揺調査による「乗り心地」に関する研究、路線バスと路面電車の停留場共用に関する研究)
- ・LRT の整備推進を図るための各種技術調査
- ・国内事例に関する現地視察・ヒアリング
- ・路面公共交通研究会、全国路面軌道連絡協議会、その他会議への協力

(3) 駅・周辺地区まちづくり研究部会

- ・社会環境の変化を見据えた「駅・まち」空間の事業推進に関する考察
- ・国内事例に関する現地視察・ヒアリング
- ・連続立体交差事業実務担当者講習会・連続立体交差事業促進協議会への協力

(4) BRT 等新たなバス交通システム研究部会

- ・提言書「新たなバス交通システムが未来のまちの風景を変える」の取りまとめ
- ・提言書の周知、新たなバス交通システムの構築に向けたシンポジウム開催
- ・先進的なバスシステム等に関する調査団の派遣（フランス・オランダ）

6 自主研究（公益目的事業4）

- (1) 今後の交通結節点等の整備のあり方に関する自主研究
 - ・ 地方整備局等の講習会支援、個別相談の受付
 - ・ 国内外における交通結節点事例の収集・整理
- (2) 将来都市像におけるモビリティ・デザインに関する研究
 - ・ 海外先進都市政策・施策動向に関する情報収集
 - ・ 「ゆっくり」を軸としたまちづくりに関する研究
- (3) 「Plusstop」（バリアレス縁石）普及促進等に関する活動
 - ・ 導入検討地区に向けての技術支援
 - ・ 導入データベースの作成
- (4) ウォーカブルに関する総合的研究
 - ・ 勉強会や社会実験等を通じたウォーカブルの総合的な支援
 - ・ 国内外におけるウォーカブルな取組み事例の収集・整理
- (5) 沿線まちづくりに関する研究
 - ・ 沿線まちづくりに対するさらなる訴求点の明確化と推進方策の検討
 - ・ 鉄道事業者とまちづくり関係者の連携強化
 - ・ 沿線まちづくりの方向性や方策に関する発信、新たな制度、支援策の提言
- (6) モビリティ・ハブのあり方に関する研究
 - ・ モビリティ・ハブに関する事例収集等
 - ・ 中核市におけるモビリティ・ハブのあり方の検討

7 受託調査研究事業関係（公益目的事業4，収益事業1）

総合交通計画関連調査	小計	4 件
交通システム関連調査	小計	2 2 件
交通拠点整備関連調査	小計	1 5 件
道路交通施設関連調査	小計	1 件
連続立体交差・踏切対策関連調査	小計	7 件
都市計画一般関連調査	小計	1 件
資産活用型まちづくり関連調査	小計	2 件
再生型まちづくり関連調査	小計	1 件
その他	小計	1 件
	合計	<u>5 4 件</u>

《附属明細書》

2024年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成19年法務省令第28号）」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しておりません。